

参考資料

速報値

タクシー利用状況調査(Qネット)

令和5年12月

タクシー利用状況調査(Qネット)

アンケート概要

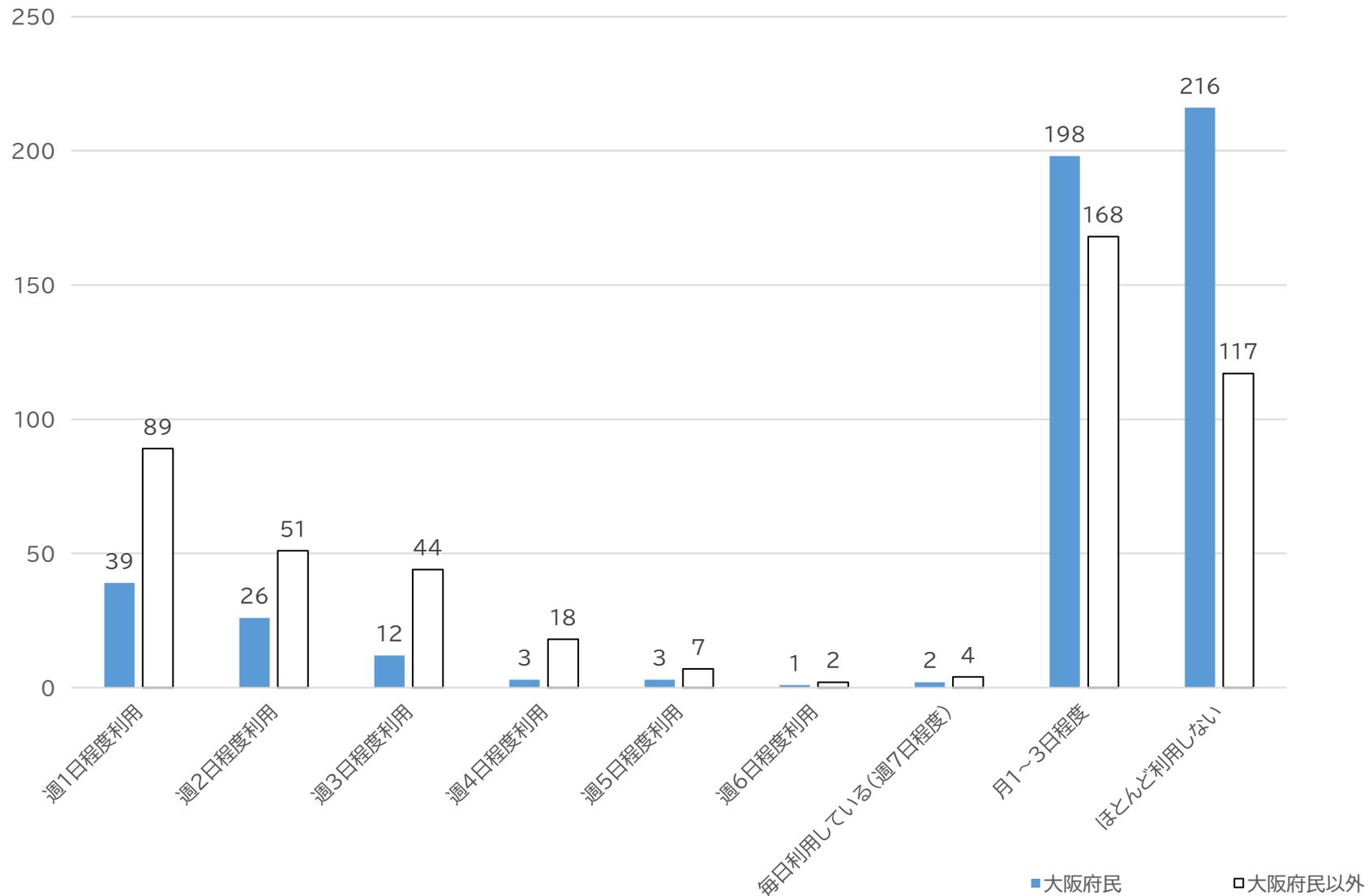
- 調査目的 :大阪府内を出発地とするタクシー利用状況を把握するとともに、利用にあたっての課題を整理する。
- 調査項目 : (1)タクシーの主な利用内容(利用目的、配車の方法等)
(2)タクシー利用の際に感じる主な課題(タクシーの待ち時間等)
(3)ライドシェアへの期待
- 対象者 :2023年8月1日から回答日までの間において、大阪府域を出発地とするタクシー利用者
- サンプル数 : 大阪府民:500サンプル 大阪府民以外:500サンプル
- 調査実施時期 :令和5年11月17日から11月22日
- 調査実施方法 :インターネットアンケート
- 回答者の年齢構成 :

	計	大阪府民	大阪府民以外
18歳以上、30歳未満	70人(7.0%)	25人	45人
30代	145人(14.5%)	58人	87人
40代	206人(20.6%)	88人	118人
50代	264人(26.4%)	144人	120人
60歳以上	315人(31.5%)	185人	130人
計	1,000人	500人	500人

タクシー利用状況調査(Qネット) - 主な結果 -

タクシーの利用頻度

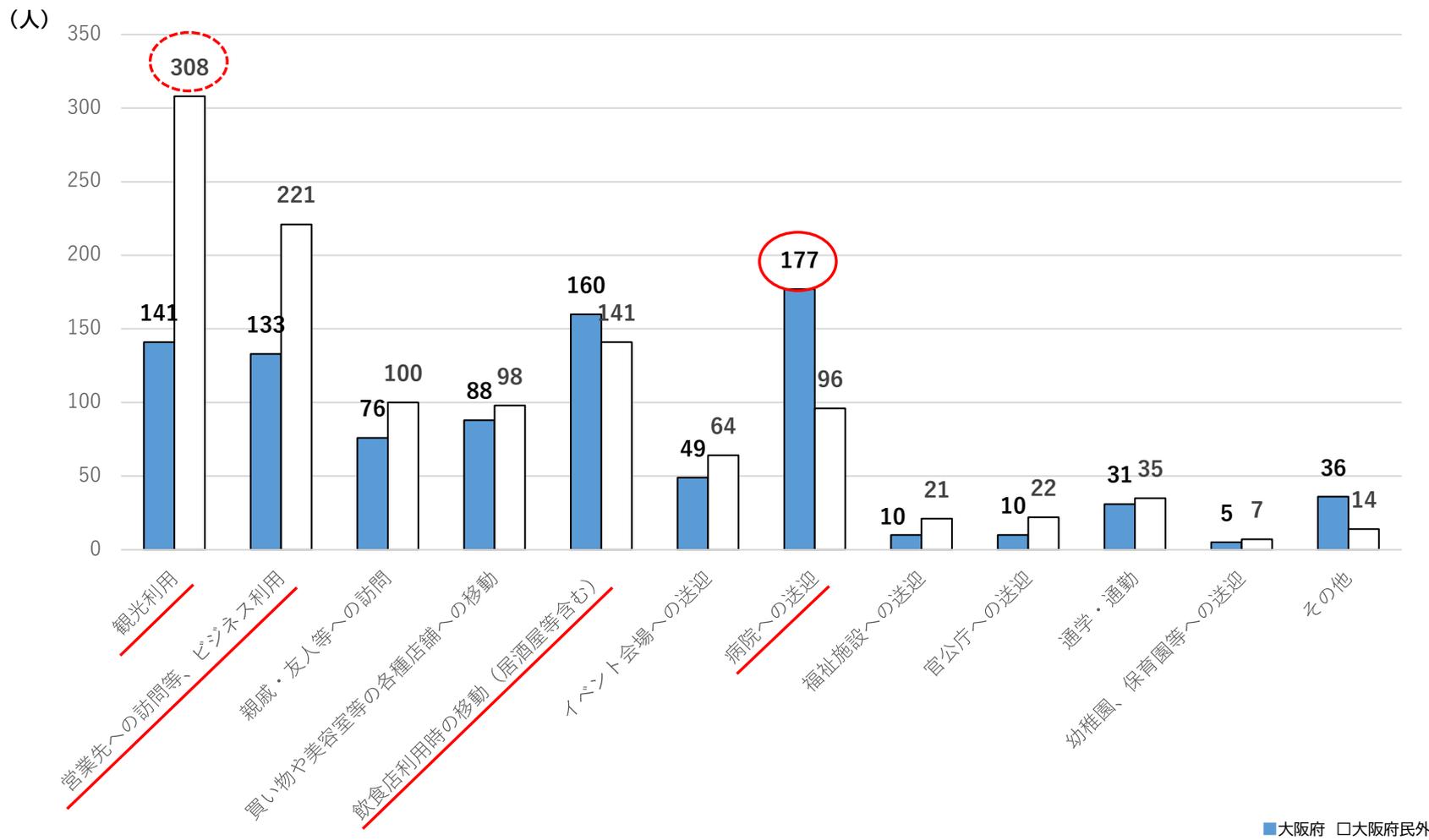
(人)



タクシー利用状況調査(Qネット) - 主な結果 -

タクシー利用目的 ※複数回答可

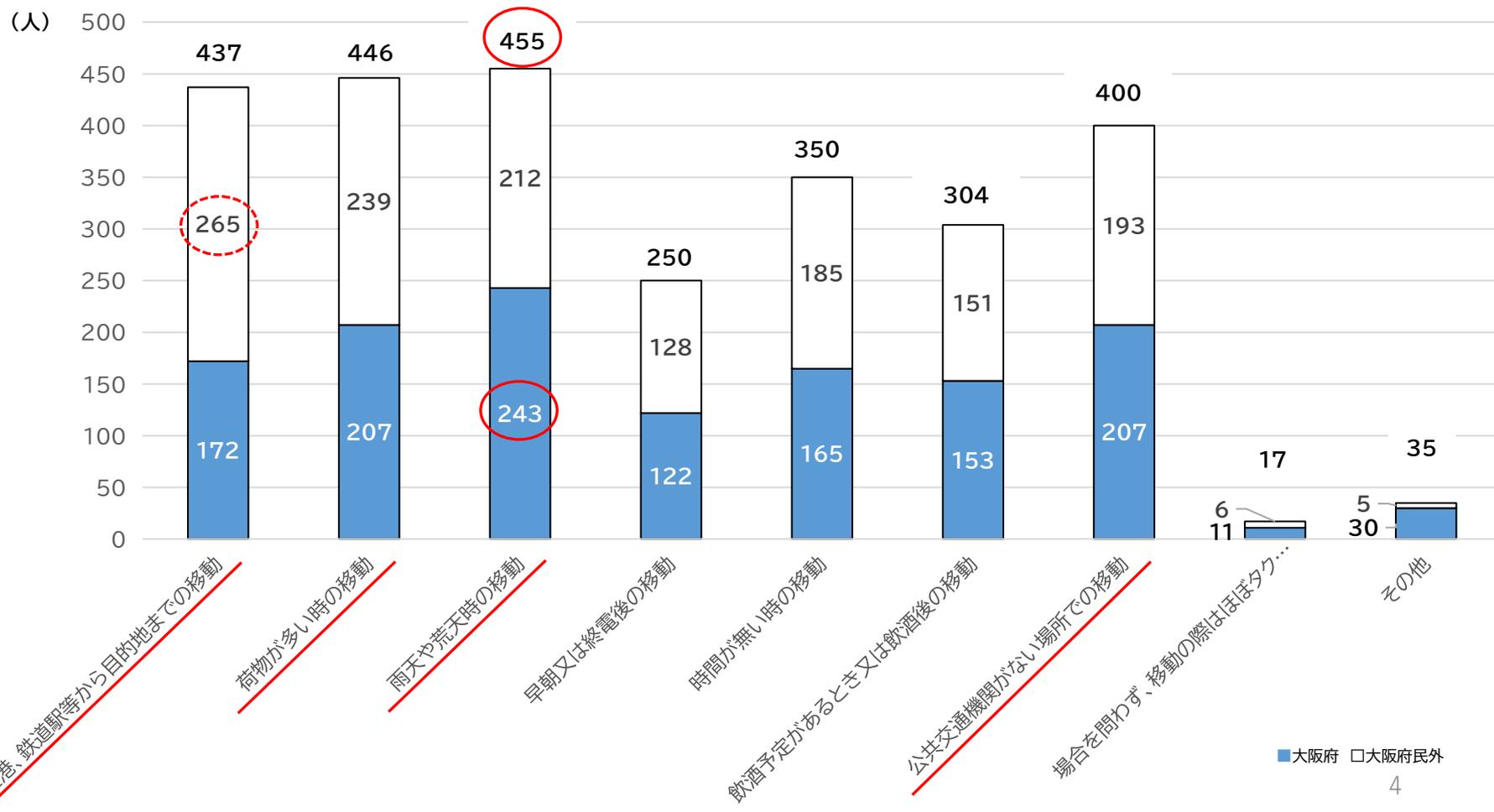
- タクシーの利用目的は、「病院への送迎」、「飲食店利用時」、「観光」、「ビジネス利用」の順に回答が多かった。
- 大阪府民以外では、「観光」、「ビジネス利用」の回答が多かった。



タクシー利用状況調査(Qネット) - 主な結果 -

タクシーの利用シーン ※複数回答可

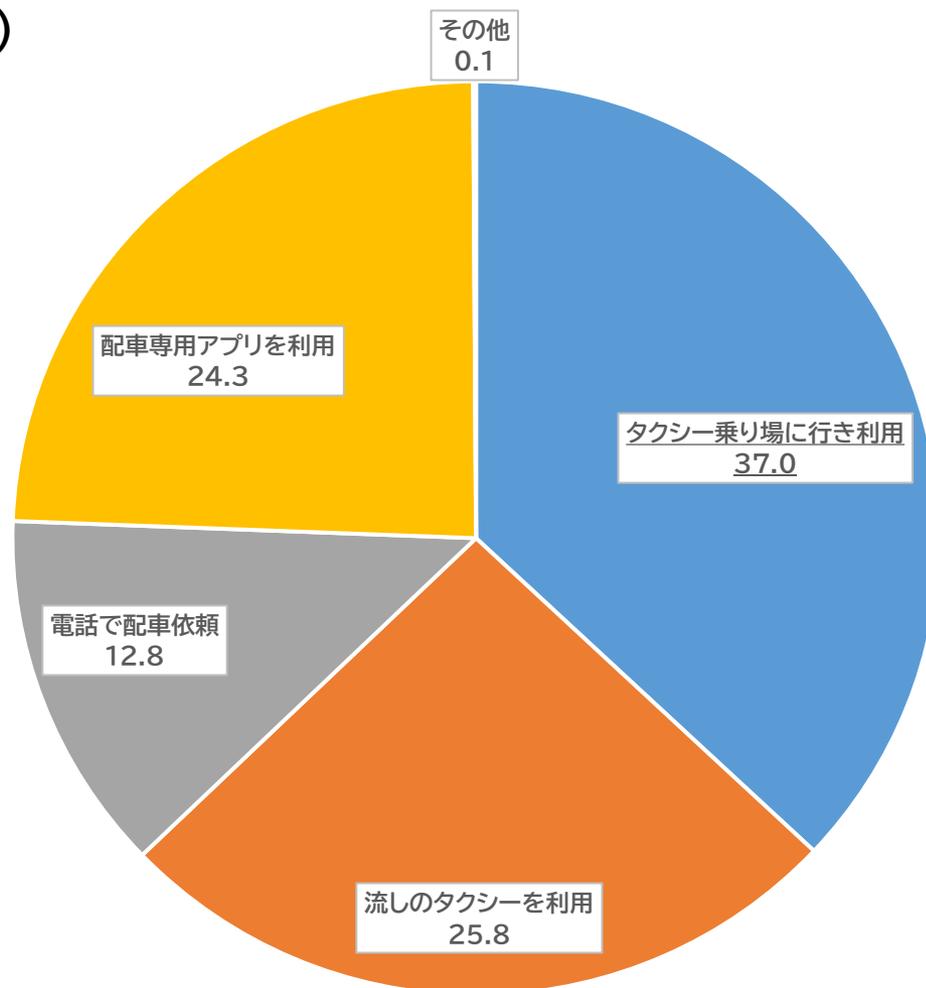
- 「あなたはこういった時にタクシーを利用することが多いですか」という質問に対して、全体では「雨天や荒天時」と回答した人が多かった。
- 大阪府民は「雨天や荒天時」、「荷物が多いとき」「公共交通機関がない場所での移動」の順に回答が多く、府民以外は「空港、鉄道駅等から目的地等までの移動」、「荷物が多いとき」の順に回答が多かった。



タクシーの配車方法※特に利用する方法

○ タクシーを利用する際の配車方法について最もよく利用する方法は、「タクシー乗り場に行き利用」であった。

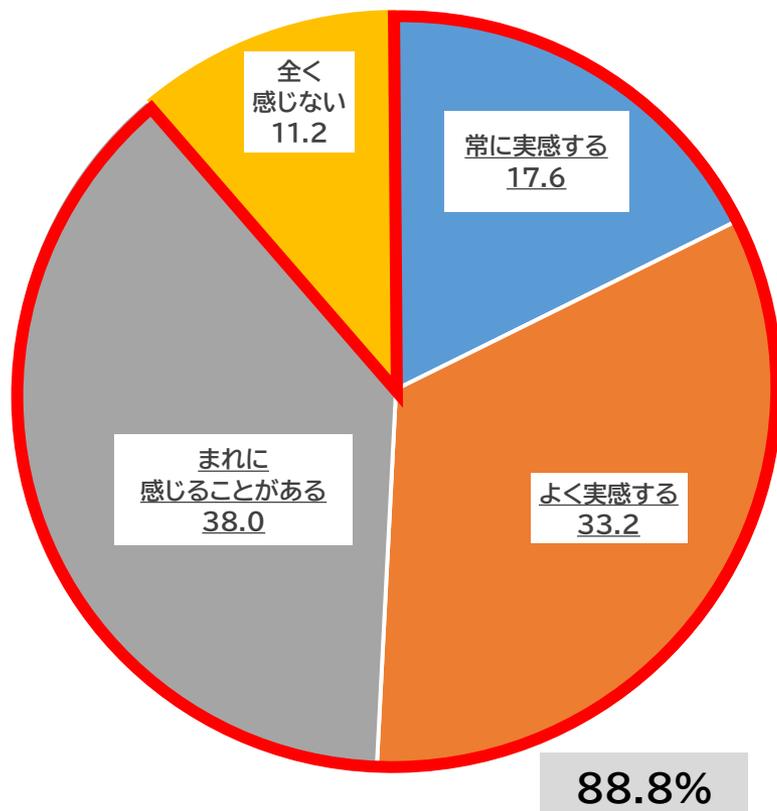
全体(府民・府民以外)



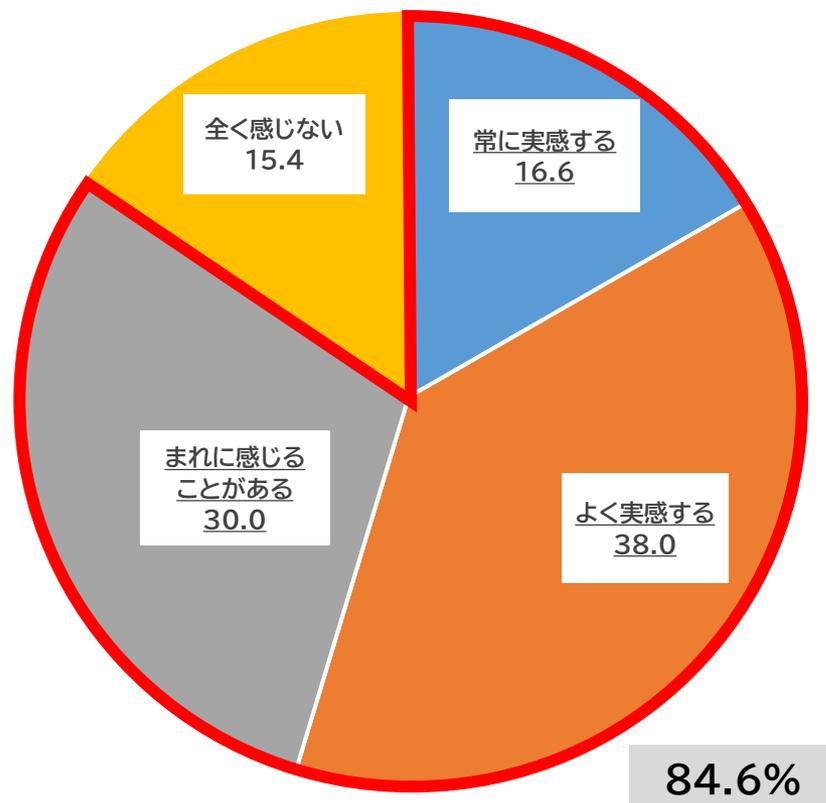
タクシーがつかまりにくい実感

○ 府民・府民以外ともに、8割以上がタクシーのつかまりにくさを実感。

府民



府民以外

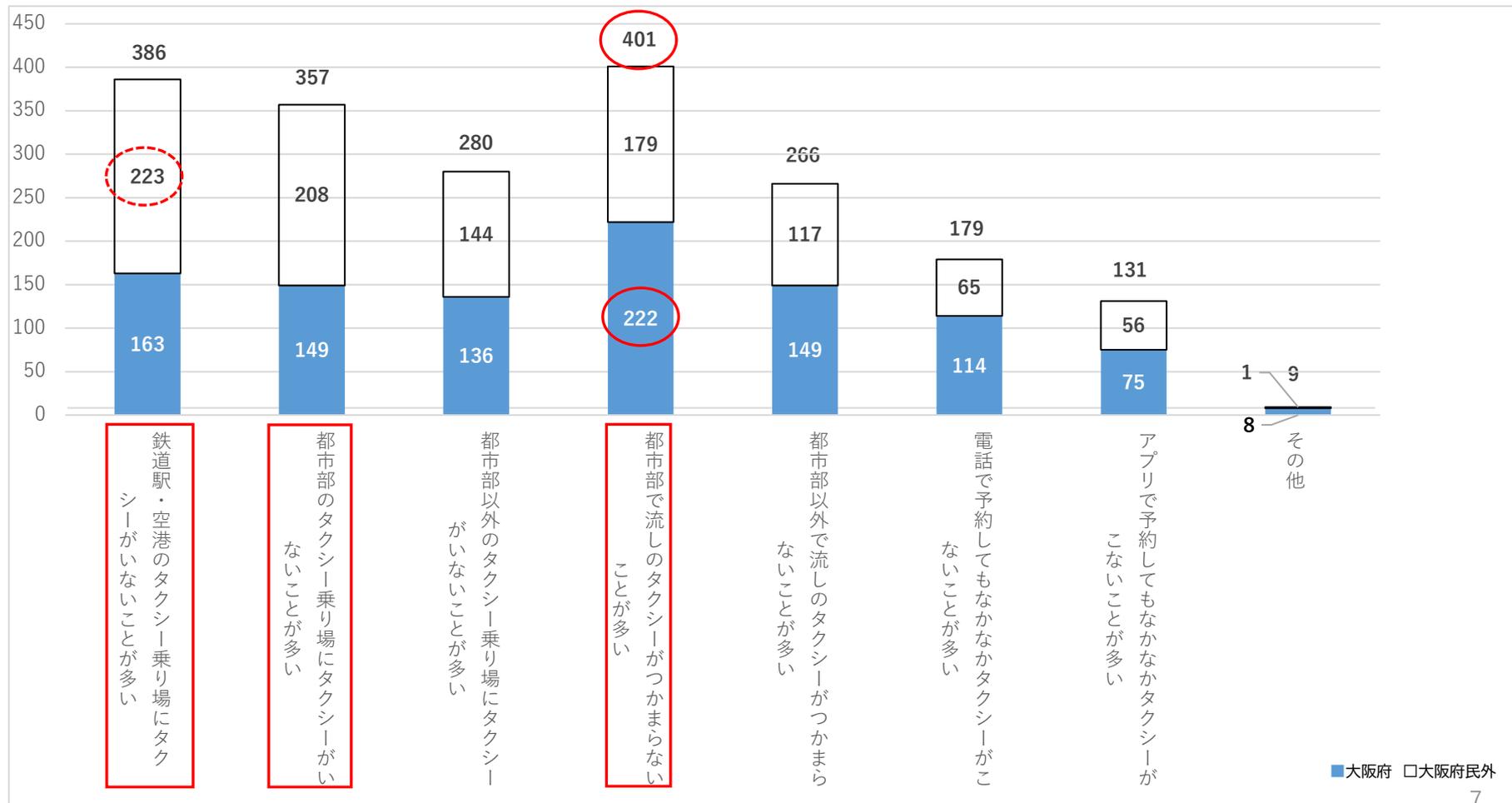


単位:%

タクシー利用状況調査(Qネット) - 主な結果 -

タクシーがつかまりにくいシーン ※複数回答可

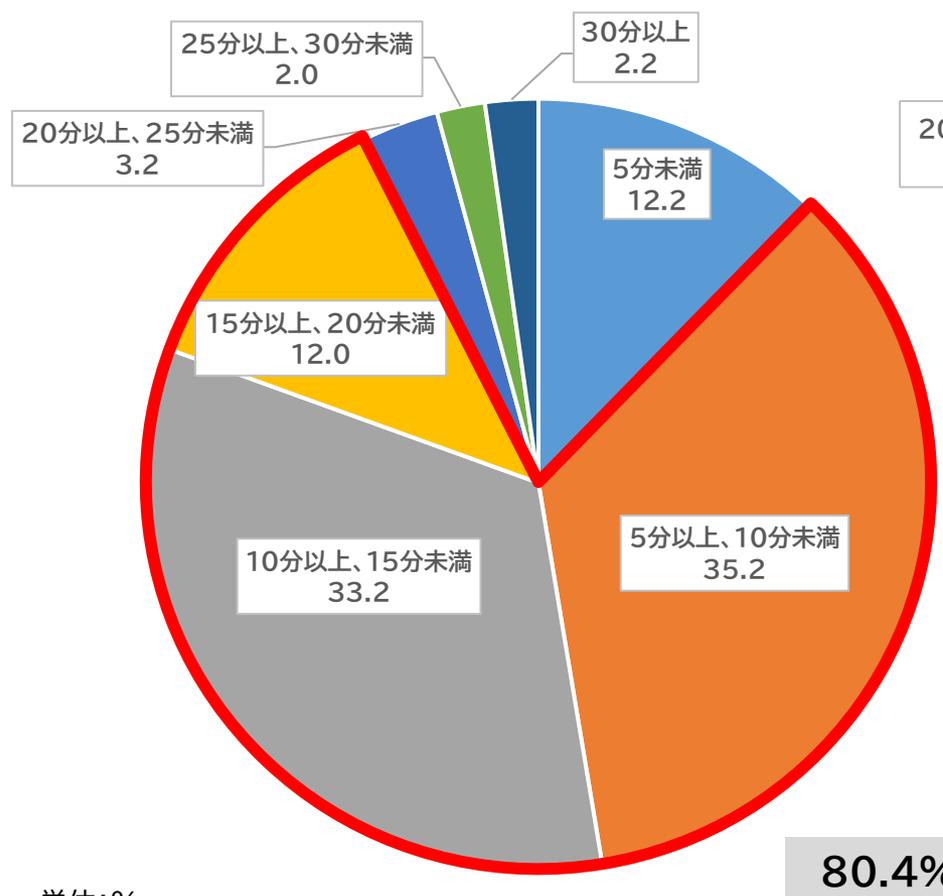
- 「タクシーがつかまりにくいと感じるのはどのような時が多いか」という質問に対して、全体では「都市部で流しのタクシーがつかまらないことが多い」と回答した人が多かった。
- 大阪府民では、特に「都市部で流しのタクシーがつかまらない」、府民以外では「鉄道駅・空港のタクシー乗り場」においてタクシー不足を感じている回答が多かった。



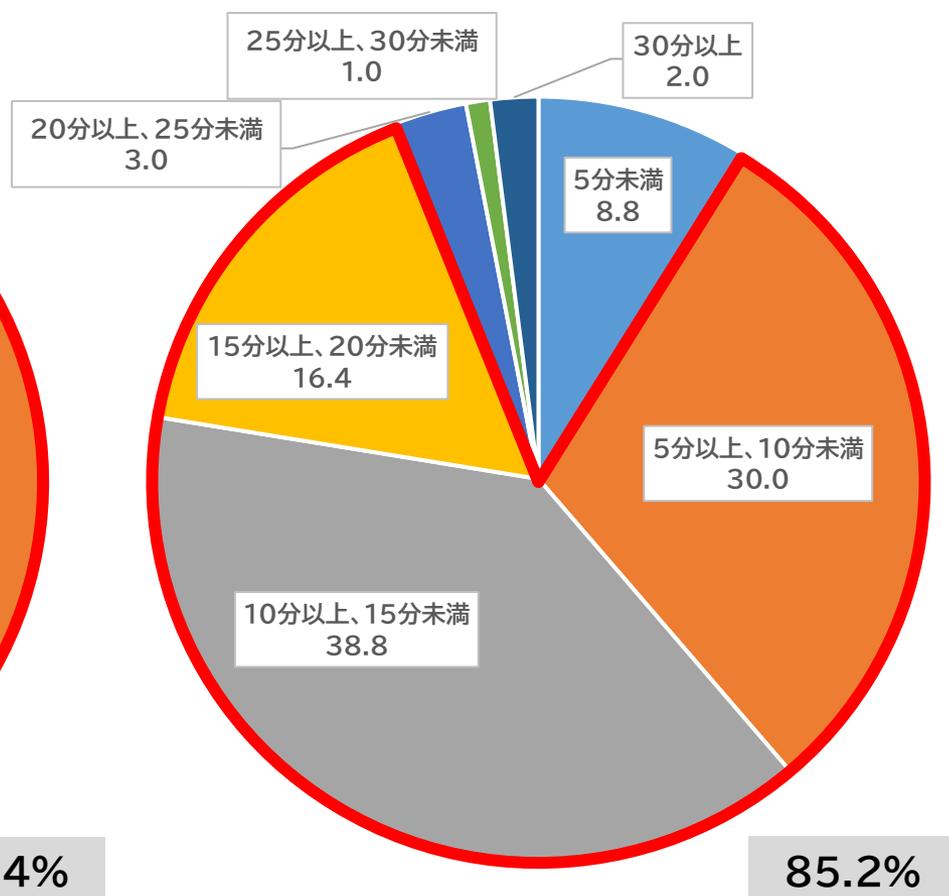
タクシー乗車までの待ち時間(通常)

○「配車を依頼してからタクシーが来るまで通常どの程度の待ち時間か」という質問に対して、5分以上20分未満との回答は、府民(80.4%)・府民以外(85.2%)とも約8割であった。

府民



府民以外

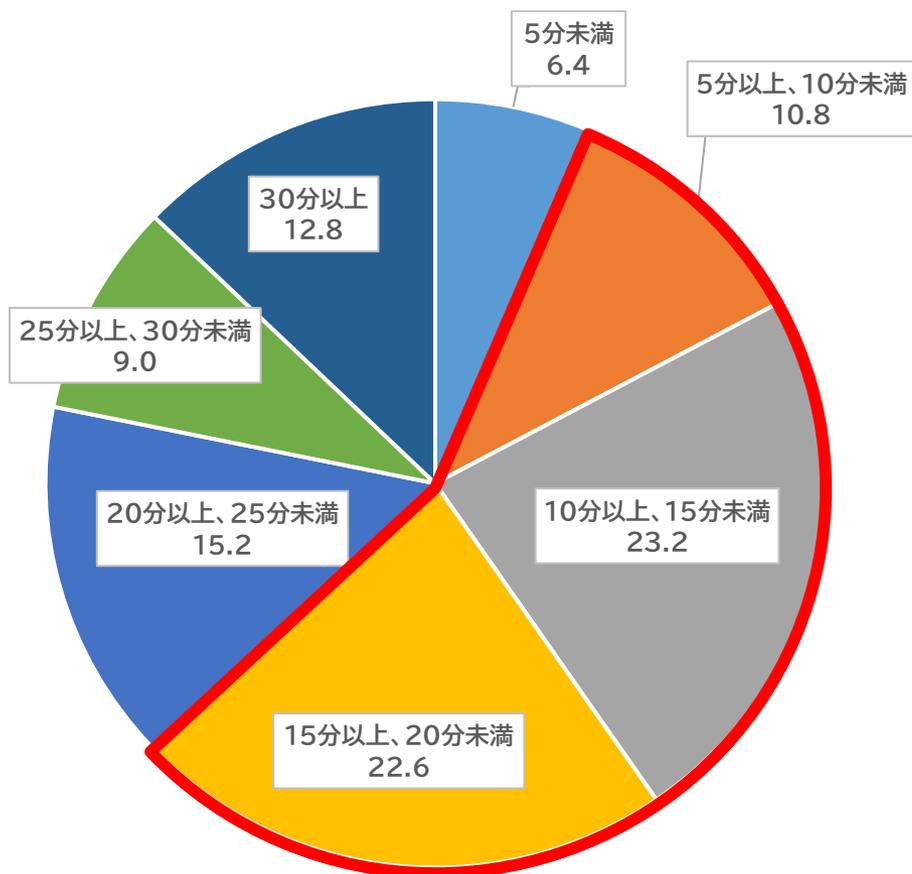


単位:%

タクシー乗車までの待ち時間(最長)

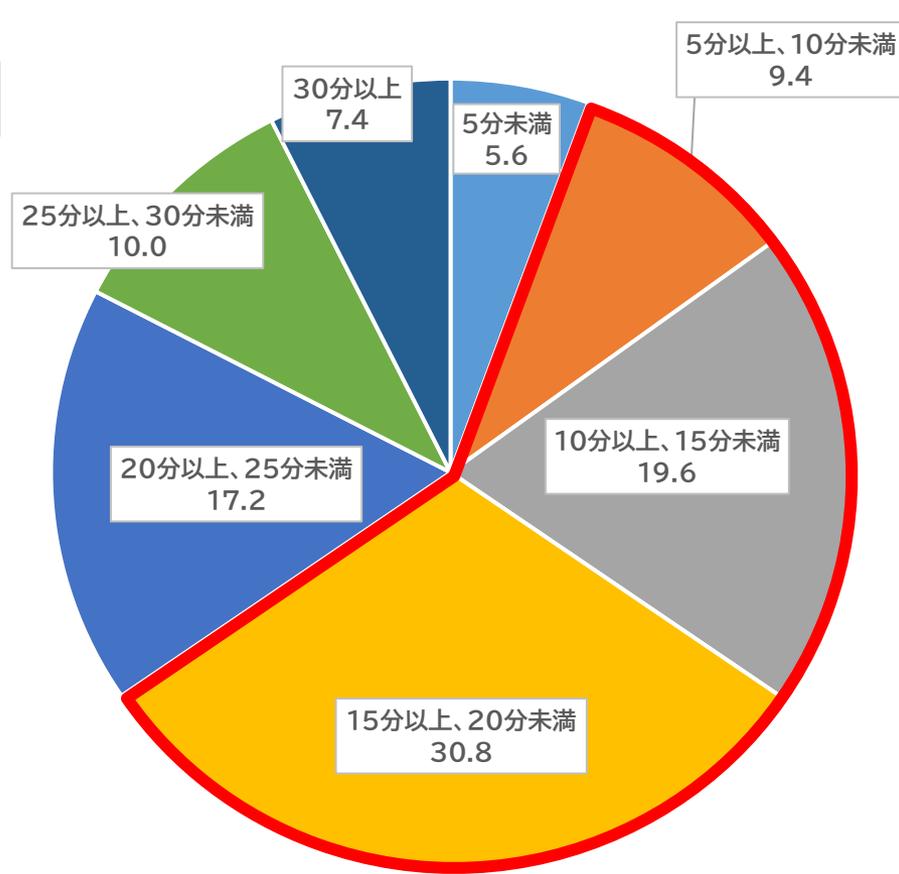
○「配車を依頼してからタクシーが来るまで最も長い待ち時間は」という質問に対して、5分以上20分未満との回答は、府民(56.6%)・府民以外(59.8%)とも約6割であった。

府民



56.6%

府民以外

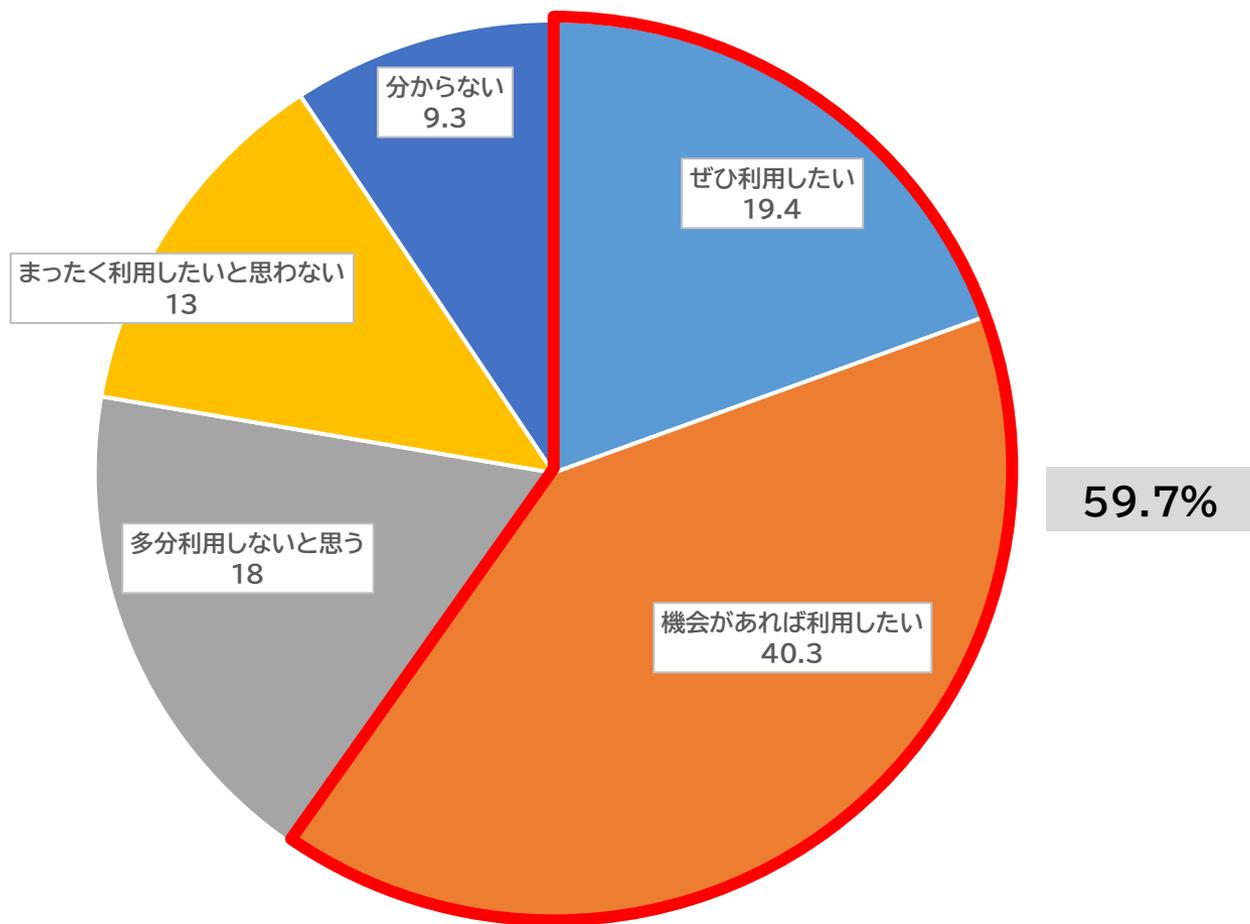


59.8%

ライドシェアの利用希望

○「ライドシェアが導入されれば利用したいか」という質問に対して、59.7%が利用を希望する回答であった。

全体(府民・府民以外)



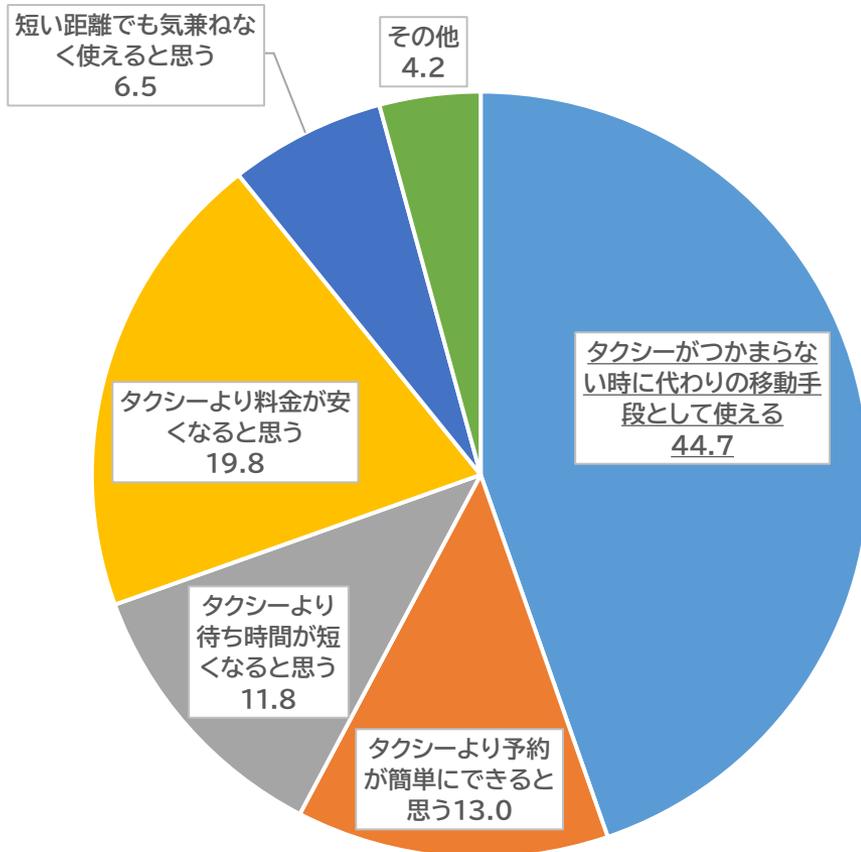
単位:%

ライドシェアへの期待と不安※特に当てはまるもの

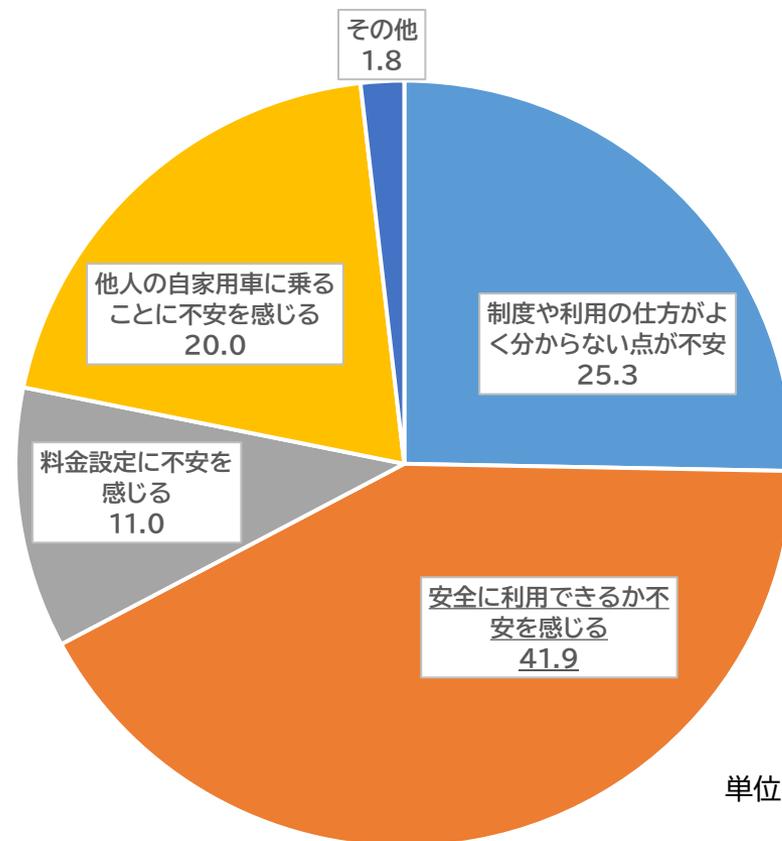
- タクシーの代わりとなる移動手段としてライドシェアに対する期待が高い。
- 一方、ライドシェアへの安全性について不安を感じる人が多い。

全体(府民・府民以外)

ライドシェアへの期待



ライドシェアへの不安



単位: %